

## 2022年度 事業運営報告

### (1) 事業運営

#### 1. 定期演奏会 (第 263 回～第 271 回)

ザ・シンフォニーホールを会場として全 9 公演を開催した。2020 年、2021 年と新型コロナウイルス感染症の影響により、指揮者、ソリスト、プログラムの変更を余儀なくされ、当初の予定とは異なる内容による実施となったが、2022 年度については諸般の事情で来日ができなくなったピアニストのデジャー・ラーンキ氏以外は予定通りの出演となった。

指揮者のうち、当団ポスト指揮者については飯森範親氏 3 公演、秋山和慶氏 2 公演、久石譲氏 2 公演の出演となった。客演指揮者は、2021 年度に引き続きカーチュン・ウォン氏及び川瀬賢太郎氏がそれぞれ出演した。ソリストについては、比較的若い世代の奏者を積極的に起用した。それぞれ、舞台上のみならず、SNS などを通じて積極的な活動を行う世代ということもあり、公演情報の発表時点でお客様からは大変な注目をいただいた。その影響もあり、これまで以上に多くのお客様に演奏会に足を運んでいただき、4 公演(265 回、267 回、269 回、270 回)で完売・大入りとなった。楽団にとって非常に喜ばしき結果となった。このことを次に繋げられるよう、新たな方策を考えていく。

#### 2. ハイドンマラソン (HM.27～HM.30)

ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」も 8 シーズン目となり、会場をザ・シンフォニーホールに移して更なる演奏の充実を目指した。2022 年度は 10 曲の交響曲を演奏し、全 104 曲の交響曲のうち 86 曲を演奏・録音し、残り 18 曲となった。

また、2022 年度も 3 回の演奏会でソリストを迎え、交響曲と共にハイドンにゆかりのあるプログラムをお届けした。

この他、ハイドン大学を開催しハイドンマラソンの周知を行った。

#### 3. センチュリー豊中名曲シリーズ (Vol.22～Vol.25)

2022 年度の演奏会では、引き続き豊中市立文化芸術センターとの共同制作による公演開催となった。2022 年度は劇作家の藤井颯太郎氏がストーリーテラーとして加わり、「喜怒哀楽」をテーマに物語とシンクロする名曲をお届けした。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 回目(Vol.22) | 「怒」 忘れられた怒り    |
| 2 回目(Vol.23) | 「哀」 夜、でしゃばる悲哀  |
| 3 回目(Vol.24) | 「喜」 修復する”歓喜”   |
| 4 回目(Vol.25) | 「楽」 100 年後の楽しみ |

お客様だけでなく、各評論家の方々からも評価をいただきそれぞれの回を終えることができた。全ての回で多くのお客様にお越しいただいたが、中でも 1 回目(Vol.22)及び 4 回目(Vol.25)については、完売・大入りとなった。

#### 4. 共催公演

広域での観客層の拡大、楽団の認知度向上、さらなるスポンサーの獲得を目的として、三重県文化センター及び滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで2会場で公演を開催した。

#### 5. 社会貢献活動

小学生向け体験型コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」については新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年度も実施を断念した。大阪府下の特別支援学校へ赴き演奏を行う「支援学校コンサート」を5公演、入院患者や来院者のための「病院コンサート」を3公演、それぞれ開催した。また、大阪府下の特別支援学校の児童・生徒を対象にした「特別支援学校コンサート」を1公演開催した。

例年開催している「世界のしょうない音楽祭」についても実施を行った。2022年度も引き続き当団コミュニティプログラムディレクターの野村誠氏を中心に開催した。また、島田・野田・庄内小学校の児童が参加する「豊中みんなの音楽教室」のメンバー22名と共に、岩手県大槌町で「エル・システマ」の音楽教育を受けている小・中学生6名も加わっての実施となりました。

#### 6. センチュリー・ユースオーケストラの運営

公益財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携し、中学1年生から29歳までの青少年を募り、ユースオーケストラを組織して指導・育成を行った。星空ファミリーコンサート、第15回定期演奏会において日頃の活動の成果を披露した。

#### 7. 室内楽公演

2022年度は63の公演を実施した。大阪クラシック3公演(大阪市)、豊中まちなかクラシック(豊中市)10公演をはじめとして、豊中市市民ホール等指定管理者、守山市文化体育振興事業団、姫路市文化国際交流財団、寝屋川市、山形市、旭酒造株式会社、株式会社ガンバ大阪、吉本興業株式会社、大阪よどがわ市民生活協同組合等からの依頼をいただいた。

#### 8. 依頼公演

2022年度は68の公演に出演した。株式会社ソニーミュージックソリューションズ、エイベックス・クラシック・インターナショナル株式会社、株式会社阪神コンテツリンク、株式会社ザ・シンフォニーホール、株式会社プロマックス等の企業その他、加西市、豊中市、公益財団法人琵琶湖芸術文化財団、公益財団法人姫路市文化国際交流財団、一般財団法人摂津市施設管理公社などの自治体及び各財団からご依頼をいただいた。また、旭酒造株式会社、武田薬品工業株式会社、朝日放送テレビ株式会社等の企業からもご依頼をいただいた。

#### 9. 豊中市立文化芸術センター パートナーオーケストラ

2016年4月より豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わってきたが、2021年度(2

期目)よりパートナーオーケストラとしてホール事業に携わっている。

(ホールでの公演やスタッフの派遣等は継続中)

## 10. 豊中市との連携

2012年に豊中市と提携した「音楽あふれるまちの推進に関する協定」に基づき、「豊中まちなかクラシック」として豊中市内各地で10公演を実施した。また、「とよなか音楽月間10周年記念公演 音楽のまちで奏でる謝音祭」と題した演奏会に出演し、豊中市立桜井谷・庄内南・豊島小学校及び箕面自由学園高等学校の児童及び生徒との共演を行った。

2018年度より開始された豊中市内の中学1年生を対象とした音楽鑑賞会「ホールでオーケストラ」に加えて、小学4年生を対象とした鑑賞会も4公演開催された。(中学校3公演、小学校4公演、計4公演)

上記に加え、憲法記念日の市長賞授賞式や当団練習場での「0歳からのコンサート」の演奏機会も頂いた。

## 11. CDの制作

楽団のPR、演奏技術の向上を目的としオクタヴィア・レコードと協力しCD制作を行った。

ハイドン：交響曲集 Vol.15 (2022年6月22日発売)

ハイドン：交響曲集 Vol.16 (2022年8月24日発売)

ハイドン：交響曲集 Vol.17 (2022年11月23日発売)

ハイドン：交響曲集 Vol.18 (2023年1月25日発売)

ハイドン：交響曲集 Vol.19 (2023年3月22日発売)

## 12. オーケストラハウスの管理

これまで、大阪府から貸与を受けているセンチュリー・オーケストラハウスの一部を音楽サロンとして一般市民に開放してきたが、事務所の移転に伴い施設管理及び警備の都合から一時停止としている。

### ■カテゴリー別事業損益 (単位：千円)

	2020年度(決算)			2021年度(決算)			2022年度(決算)		
	収入	支出	損益	収入	支出	損益	収入	支出	損益
シンフォニー定期	60,676	57,244	3,432	51,261	57,009	▲ 5,748	67,404	71,600	▲ 4,196
ハイドンマラソン	15,526	14,738	788	15,170	18,938	▲ 3,769	16,339	18,620	▲ 2,280
その他自主	48,536	63,883	▲ 15,347	23,189	25,938	▲ 2,749	24,911	17,719	7,192
<b>自主公演計</b>	<b>124,739</b>	<b>135,865</b>	<b>▲ 11,127</b>	<b>89,621</b>	<b>101,884</b>	<b>▲ 12,263</b>	<b>108,654</b>	<b>107,939</b>	<b>716</b>
依頼公演	124,219	63,664	60,555	313,512	152,968	160,544	404,457	201,849	202,607
豊中事業	34,207	26,651	7,556	40,243	20,410	19,833	59,076	31,934	27,141
<b>演奏事業合計</b>	<b>283,165</b>	<b>226,180</b>	<b>56,984</b>	<b>443,376</b>	<b>275,262</b>	<b>168,114</b>	<b>463,533</b>	<b>233,783</b>	<b>229,748</b>
共通・管理費用	177,070	318,404	▲ 141,334	59,296	248,732	▲ 189,435	100,796	305,916	▲ 205,120
<b>総合計</b>	<b>460,235</b>	<b>544,584</b>	<b>▲ 84,351</b>	<b>502,672</b>	<b>523,994</b>	<b>▲ 21,319</b>	<b>672,983</b>	<b>647,638</b>	<b>25,344</b>

## (2) 楽団運営

### 1. 事務局体制

事業部、総務経理部の2部体制で運営。従前の企画制作グループと営業推進グループを事業部内の部署とし、情報伝達指示系統、照査経路を確立し業務の効率化を図った。また、各グループにグループ長、主任を据えることで、各グループの指示系統を明確化させた。豊中市立文化芸術センター指定管理業務に携わる出向者1名については、楽団とホールの両面から相互の連携強化に努めている。

### 2. 広報宣伝概要

積極的なSNS活用はじめとして、楽団自ら演奏のみならず様々なアピールポイントを積極的に発信した。また、各メディアとの連携を深め大小様々な日本センチュリー交響楽団に関連する情報を提供した。

### 3. 新型コロナウイルスに関連した支援等について（主なもののみ掲載）

三菱UFJフィナンシャル・グループ	8,800,000円
豊中市ふるさと納税形クラウドファンディング	2,051,000円
中小企業庁 事業復活支援金	1,500,000円

### 4. 法人営業強化

体制を強化し、既存会員のフォロー強化と新規スポンサーの開拓を実施。

法人サポーター会員 2021年度67社 → 2022年度66社 1社減

### 5. 人事情報

#### 楽員人事

佐藤元昭（トランペット） 2023年3月31日付で退職  
2023年4月1日付で再雇用

#### 事務局人事

武田嘉子（総務経理部） 2023年3月31日付で定年退職  
2023年4月1日付で再雇用

中村沙耶（事業部企画制作グループ） 2023年3月1日付採用

## ■各種会員推移

年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023
個人定期会員	シンフォニー定期	251	228	211	207	354	357
	ハイドンマラソン	60	65	52	56	57	54
	プレミアム	136	111	100	95	95	95
法人定期会員		14	16	16	16	17	15

年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023
スタンダードサポーター	個人	154	153	208	155	146	137
	法人	61	65	59	67	66	65
マンスリーサポーター	個人	18	16	22	22	20	20
目的別サポーター	個人	22	25	27	25	29	27
	法人	3	3	3	4	4	5